



神戸女学院大学大学院

人間科学研究科・臨床心理学分野


神戸女学院大学は1875年に米国女性キリスト教宣教師によって創立されたキリスト教精神に基づく大学です。大学院人間科学研究科は1997年に設立、臨床心理学分野と心理相談室も同時に開設し、2002年には臨床心理士養成第1種指定大学院に認可されました。既に多くの修士が臨床心理士として、教育・福祉・医療等の現場で活躍し、高い評価を得ています。

また、2017年9月に施行された公認心理師法にしたがって、本学でも公認心理師養成のためのカリキュラムを2018年度より学部と大学院で同時にスタートさせました。臨床心理士養成大学院としての心理臨床実践と教育・訓練の長年の経験と実績を生かし、真の臨床実践力を身につけた臨床心理士・公認心理師を養成し、現代社会に貢献していくことが、われわれの本分であり、願いです。

臨床心理学分野の三つの特徴

40年余の伝統と経験をもつ 相談室で豊富な学内実習	人間科学研究科による厚く 幅広い教育・研究へのサポート	本学ならではの 充実した学外実習
本学心理相談室は、前身の児童相談室開設より40年以上にわたって心理相談を続けて地域貢献をしてきました。個別カウンセリング、遊戯療法など、豊富な実践訓練を積むことができ、学外のSV体制も整っています。また、子育て支援プログラムや講演会などの地域実践活動にも力をいれています。	行動科学領域や人間科学研究科の他領域の教員が、臨床心理士および公認心理師資格取得に必要な多様な領域の学修をサポートしています。研究科の院生が一堂に会して研究をブラッシュアップする合同演習等、研究支援も充実。さらに博士後期課程では、博士論文の作成や研究者になるための指導にも力を入れています。	本学の学外実習は、医療・福祉・教育・司法・産業の5領域をすべて網羅し充実していることが特徴で、例えば医療領域では精神科臨床、チーム医療、デイケアなど、福祉領域では子ども家庭センターや養護施設など、幅広い現場で実習を展開しています。また、きめ細やかな事前事後指導体制を整えていることも特徴です。

カリキュラム ※2018年度より臨床心理士&公認心理師のカリキュラムを展開

博士前期課程		学内実習・学外実習	
1年	人間科学合同演習Ⅰ 特別研究Ⅰ 選択必修科目群 認知行動療法特論 犯罪心理学特論 産科臨床心理学特論 精神医学特論 臨床心理学特論 臨床心理査定演習 臨床心理面接特論 臨床心理基礎実習 (全教員・全院生で合同カンファレンス)	心理実践実習 学内の心理相談室での事例担当 カウンセリングやプレイセラピー (学外SV)	学内実習・学外実習
2年	人間科学合同演習Ⅱ 特別研究Ⅱ 認知行動療法特論 犯罪心理学特論 産科臨床心理学特論 精神医学特論 臨床心理学特論 臨床心理地域実践演習 心理療法特論 臨床心理地域実践演習 (臨床心理実習)	臨床心理地域実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (学外実習) (医療・福祉・教育・司法・産業領域) 臨床心理地域実践演習 アウトリーチ、講演会などの補助や運営	学内実習・学外実習
修士論文 博士後期課程へ 研究力の育成		臨床心理士 公認心理師 資格試験 臨床心理士&公認心理師の養成	心理臨床実践能力の養成 

公認心理師試験合格率
5年連続 100%!

博士前期課程修了後の進路・就職先

- ◎進学 本学大学院博士後期課程進学
- ◎就職 公認心理師資格取得と並行し、常勤心理士として就職する人の割合が増加しています!
 【医療・保健領域】総合病院、大学附属病院神経科・精神科、心療内科クリニック、保健所、精神保健福祉センターなど
 【福祉領域】心理判定員 (子ども家庭センター)、児童養護施設、療育施設など
 【教育領域】公立・私立学校スクールカウンセラー、教育センター (公立) 相談員、大学学生相談室、大学教職員、大学非常勤講師など
 【司法・矯正領域】警視庁 (被害者支援)、法務省専門職員 (人間科学) 矯正心理専門職など
 【産業領域】自衛隊 (心理職)

教員の紹介

石谷 真一 (教授) 【専門領域】 発達臨床心理学 ①愛着形成とメンタライジングの発達から見た親子関係の問題の理解と援助 ②メンタライゼーションに基づく児童・青年、成人への臨床実践とその研究 ③愛着トラウマの神経生理学的理解を踏まえた統合的な援助アプローチの実践と研究 ④メンタライジング・アプローチを活用した大学院生の臨床教育法の開発とその研究	須藤 春佳 (教授) 【専門領域】 子ども臨床心理学 ①親友・友人関係に関する研究 (大学生の友人関係とLINEコミュニケーション、「友だち親子」など) ②子どもの心の発達・修復と想像の仲間・親友関係 ③プレイセラピストの訓練・教育 ④女性の心の成長・治癒と心理療法 ⑤物語と子どもの心
---	--

鶴田 英也 (教授) 【専門領域】 イメージの心理臨床学 ①イメージにかかわる心理臨床 (描画、箱庭、夢、遊び、身体) の実践と研究 ②バウムテストについての学際的な研究 ③学生相談・障害学生支援 ④小説、映画、マンガ、アニメなどの臨床心理学的分析	若佐 美奈子 (准教授) 【専門領域】 精神分析 ①心理療法家の成長と訓練のあり方 ②離婚家庭の子ども、虐待された子どもの精神的心理療法プロセス ③自閉スペクトラム症児の親の受容プロセスにおける間主観性とアタッチメント	西嶋 雅樹 (准教授) 【専門領域】 学校臨床心理学 ①児童期・思春期・青年期の心理臨床の実践と研究 ②マンガやアニメからみる現代のこころに関する研究 ③スクールカウンセリングの実践ならびに教育との連携 ④心理臨床家の成長と訓練・養成
--	--	---

心理相談室の活動と学外実習

心理相談室では、個人面接や親面接、プレイセラピーなど個々の臨床実践のほかにも、様々な内容の地域実践や研修を行っています。また、医療・教育・福祉・司法・産業の5つの領域での学外実習は事前指導と事後指導でしっかりとサポートしていきます。

心理相談室ウィーク

毎年7月末～8月は、はじめ頃にかけての1週間、講演会と無料相談を開催。講演会室の後には、緑に囲まれたプレイルームや面接室、箱庭などの見学ツアーも。



専門家向けセミナー

多様な専門領域を有する本学の教員陣が、心理臨床を専門とする学内外の大学院生や専門家を対象とするセミナーを毎年開催。臨床心理士ポイントも取得可能。



みつば会

著名な心理臨床家をコメンテーターとしてお招きする事例検討会。講師の先生と教員、大学院生とOGとが交流し情報交換の場にも。



外部実習報告会

医療を中心とする5領域での1年間の実習の成果を年度末に報告。まとめられた報告書はお世話になった実習先にも送られます。



修了生の声

T.Yさん 発達相談員

女学院での博士前後期課程、研究生を経て、現在は子どもと関わる現場で働いています。大学院での専門的な学びを得て、カンファレンス、心理相談室、実習では臨床を経験し、SVで自身と向き合うことはもとより、研究生として長く大学に在籍させてもらいながら、臨床と研究に携わることができました。今さまざまな現場に出ています。どの場においても他者と誠実に会うことが自分の根幹にあり、それは本学での経験の中で培われたものだと感じます。

U.Eさん 精神科併設 カウンセリングルーム勤務



カンファレンスでの意見交換は自身の臨床スキルを高める良い機会でした。大学院での学びをフルに活かし、今は精神科・心療内科に併設されたカウンセリングルームで心理検査やカウンセリング等を実施しています。患者様と一緒に考える時間や、親子関係を改善させる手助けができることに、大きなやりがいを感じています。神戸女学院で学べて本当に良かったです。

Y.Yさん 児童心理治療施設勤務



院生の間に、知識を学ぶことに加えて、実践の機会を数多くいただけたことは、大変貴重でした。実習やケースなどで臨床を実践すると、少なからず悩みや迷いが出ます。そんな中、一人一人と丁寧に向き合っていた環境があったこと、そして院生同士で支え合えたことは、心強くありがたかったです。私は現在、児童心理治療施設で勤務しています。日々子ども達と関わっていると、なぜこの行動を？と疑問が溢れます。そんな時、大学院で学んだ「考え続けること」の大切さを思い出し、実践に役立っています。

アクセス&入試情報



◎入試日程 (2025 年度)

秋季 (9/18・19)・春季 (2/12・13)

◎過去問題や入試要項についてなど、詳しくは下記までお問い合わせください。

神戸女学院大学大学院人間科学研究科

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4-1

TEL 0798-51-8553